

業務名 (業務コード)		輸入貨物情報変更登録 (CAI01)										条件	コード	入力条件/形式	
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰1	繰2								
1		入力共通項目		an	398			M							
2		AWB番号	AWB	an	20			M							
3		到着空港	TAP	an	3			C							IATA空港コード (1) 他空港の到着便情報を訂正する場合に入力 (2) 到着空港を省略した場合で、対象到着便情報が30便を超える場合は入力者から変換した到着空港を取得する (3) 到着空港を省略した場合で、入力者から変換できない場合は必須入力
4		品名	CMD	an	21			C							(1) 変更がない場合は、省略可 (2) システムに当該項目が変更可能な旨が登録されていること
5		仕出し	ORG	an	3			C							IATA空港コード 及び IATA都市コード (1) 変更がない場合は、省略可 (2) システムに当該項目が変更可能な旨が登録されていること (3) システムに登録されていない仕出しの場合は、「ZZZ」を入力
6		総個数	GPS	an	6			C							(1) 変更がない場合は、省略可 (2) システムに当該項目が変更可能な旨が登録されていること (3) 総個数を取り消す場合は、「X」を入力 (4) 総個数が登録されている場合で、ULDに「K」が入力されている場合は、「X」を入力 (5) 個数の合計は、総個数以下であること
7		総重量	GWT	an	8			C							(1) 変更がない場合は、省略可 (2) システムに当該項目が変更可能な旨が登録されていること (3) 総重量を取り消す場合は、「X」を入力 (4) 総重量が登録されている場合で、ULDに「K」が入力されている場合は、「X」を入力 (5) 整数部6桁、小数部1桁 (6) 重量の合計は、総重量以下であること。ただし、HAWBの場合は除く。
8		特殊貨物記号	SPC	an	3			C							SPC (特殊貨物) コード (1) 変更がない場合は、省略可 (2) システムに当該項目が変更可能な旨が登録されていること (3) 特殊貨物記号を取り消す場合は、「X」を入力 (4) 特殊貨物記号が登録されている場合で、ULDに「K」が入力されている場合は、「X」を入力
9		社用品表示	SVO	an	2			C							(1) 社用品の旨を登録する場合は、「SV」を入力 (2) 変更がない場合は、省略可 (3) システムに当該項目が変更可能な旨が登録されていること (4) 社用品の旨を取り消す場合は、「X」を入力 (5) 社用品の旨が登録されている場合で、ULDに「K」が入力されている場合は、「X」を入力 (6) ULDに「K」が入力されている場合は、「SV」は入力不可
10		荷送人名	SHN	an	70			C							(1) 変更がない場合は、省略可 (2) システムに当該項目が変更可能な旨が登録されていること
11		荷送人住所	SHA	an	105			C							(1) 変更がない場合は、省略可 (2) システムに当該項目が変更可能な旨が登録されていること
12		荷送人電話番号	STL	an	14			C							(1) 変更がない場合は、省略可 (2) システムに当該項目が変更可能な旨が登録されていること
13		荷受人コード	CNC	an	17			C							輸出入者コード 法人番号 (1) 変更がない場合は、省略可 (2) システムに当該項目が変更可能な旨が登録されていること
14		荷受人名	CNN	an	70			C							(1) 変更がない場合は、省略可 (2) システムに当該項目が変更可能な旨が登録されていること
15		荷受人住所	CAN	an	105			C							(1) 変更がない場合は、省略可 (2) システムに当該項目が変更可能な旨が登録されていること
16		荷受人電話番号	CTL	an	14			C							(1) 変更がない場合は、省略可 (2) システムに当該項目が変更可能な旨が登録されていること

業務名 (業務コード)		輸入貨物情報変更登録 (CAIO1)										条件	コード	入力条件/形式	
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰1	繰2								
17		訂正理由	RSN	an	3		C								(1) 以下の該当する訂正理由コードを入力 MST: 個数以外の項目を訂正する場合 SHT: 個数を減らす場合 (入力者が保税蔵置場の場合のみ「SHT」を入力可) OVR: 個数を増やす場合 (2) 入力者が税関の場合は、入力不可
18	30	到着便名 1	FL1	an	6		C								(1) 航空会社コード+フライトナンバーを入力 (2) フライトナンバーについては3桁または4桁の入力が可能。4桁目については、英・数記号が可、それ以外は数字とする。 (3) 入力者が税関の場合で、到着便名が不明の旨が登録されている場合は到着便名の便名部を入力 (4) 上記(3)以外の場合は、輸入貨物情報DBに登録されている到着便名1と同一であること
19	*	到着便名 2	FL2	an	5		M								(1) 以下の形式で入力 DDMMM (2) 入力者が税関の場合で、到着便名が不明の旨が登録されている場合は到着便名の日付部を入力 (3) 上記(2)以外の場合は、輸入貨物情報DBに登録されている到着便名2と同一であること
20	*	到着空港	POT	an	3		C						IATA 空港コード	(1) 入力者が税関の場合で、到着便名が不明の旨が登録されている場合は空港コードを入力 (2) 上記(1)以外の場合は、輸入貨物情報DBに登録されている到着空港コードと同一であること	
21	*	到着年月日	ADT	n	8		C								(1) 変更がない場合は、省略可 (2) システムに当該項目が変更可能な旨登録されていること (3) 到着年月日 ≤ システム年月日であること
22	*	搬入年月日	IDT	n	8		C								(1) 変更がない場合は、省略可 (2) システムに当該項目が変更可能な旨登録されていること (3) 到着年月日 ≤ 搬入年月日 ≤ システム年月日であること
23	*	個数	PCS	n	6		C								(1) 変更がない場合は、省略可 (2) 訂正理由に「OVR」が入力された場合は、輸入貨物情報DBに登録されている個数より大きいこと (3) 訂正理由に「SHT」が入力された場合は、輸入貨物情報DBに登録されている個数より小さいこと (4) 個数の合計は、総個数以下であること (5) ULDに「K」が入力されている場合は、「1」を入力
24	*	重量	WGT	n	8		C								(1) 変更がない場合は、省略可 ACH・HCHO1業務またはPKG・HPK業務で登録した重量から変更がない場合は、入力不可 (2) システムに当該項目が変更可能な旨登録されていること (3) 整数部6桁、小数部1桁 (4) 重量の合計は、総重量以下であること。ただし、HAWBの場合は除く。
25	*	保税蔵置場	HWH	an	5		C						保税地域コード	(1) 入力者と同一の税関官署内であること (2) 変更がない場合は、省略可 (3) システムに当該項目が変更可能な旨登録されていること (4) 入力者が税関以外の場合は、輸入保税蔵置場または航空会社保税蔵置場を入力 (5) 入力者が税関の場合は、輸入保税蔵置場、航空会社保税蔵置場または他所蔵置場所を入力 (6) 保税蔵置場を取り消す場合は、「X」を入力 (7) 運送種別に「?」以外の入力され、かつ仕向地に入力地域空港コード以外が入力されているかまたは運送種別に「1」が入力されている場合は、航空会社保税蔵置場を入力	
26	*	仕向地	DST	an	3		C						IATA 空港コード 及び IATA 都市コード	(1) 変更がない場合は、省略可 (2) システムに当該項目が変更可能な旨登録されていること (3) 一般仮陸揚貨物、仮・仮貨物、他空港一括保税運送仮陸揚貨物、または国外向け機移し貨物の場合は、外国都市コードまたはシステム外国内空港コードを入力 (4) マル仮貨物または国内向け機移し貨物の場合は、システム内国内空港コードを入力 (5) 他空港一括保税運送貨物の場合は、到着空港地域以外の他空港一括保税運送可能空港コードを入力 (6) 運送種別が未定の場合は、到着空港地域以外の空港コードを入力 (7) その他の貨物の場合は、入力地域空港コードを入力 (8) ULDに「U」が入力され、かつ運送種別に「X」が入力されている場合は、システム外国内空港コードまたは外国都市コードを入力	

業務名（業務コード）		輸入貨物情報変更登録（CAI01）														コード	入力条件／形式									
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰 上	繰 下	条件																		
27	*	運送種別	USB	an	1																					(1) 変更がない場合は、省略可 (2) システムに当該項目が変更可能な旨登録されていること (3) 当該空港揚貨物または一般仮陸揚貨物の場合は、「X」を入力 (4) マル仮貨物または仮・仮貨物の場合は、「K」を入力 (5) 他空港向一括保税運送貨物の場合は、「T」を入力 (6) 航空会社保税蔵置場向けの社用品の場合は、「1」を入力 (7) 他空港向一括保税運送仮陸揚貨物の場合は、「H」を入力 (8) 機移し貨物の場合は、「M」を入力 (9) 運送種別が未定の場合は、「？」を入力 (10) ULDに「U」が入力されている場合は、「1」は入力不可
28	*	ULD	ULD	an	1																					(1) 変更がない場合は、省略可 (2) システムに当該項目が変更可能な旨登録されていること (3) ULDの場合は、「K」を入力 (4) ULD収容貨物の場合は、「U」を入力 (5) ULD及びULD収容貨物の旨を取り消す場合は、「X」を入力 (6) 社用品表示に「SV」が入力されている場合は、「K」は入力不可 (7) 突合済表示に「Y」が入力されている場合は、「U」は入力不可
29	*	突合済表示	RMK	an	1																					(1) システムに当該項目が変更可能な旨登録されていること (2) 未突合・不突合を突合済にする場合は、「Y」を入力 (3) 当該貨物を無効にする場合は、「X」を入力 (4) 既に「X」で無効となった貨物を取り消す場合は、「R」を入力 (5) 「X」または「R」が入力され、スプリット貨物の場合は、全便に対し入力されていること (6) ULDに「U」が入力されている場合は、「Y」は入力不可